

【忍城からさきたま風土記の丘ハイキング】

2018年11月11日(日)

■往路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻
草加(区急館林)	7:35	8:32
羽生(秩父鉄道)	8:54	9:09
行田市	—	1:34

380円集金・380x19=7,220円

■コースタイム(見学時間を含む)

チェックポイント	時刻	所要時間
①行田市駅スタート	9:15	-
②行田市郷土博物館	10:25	1:10
③浮き城の径	10:32	0:07
④水城公園	11:32	1:00
昼食	12:12	0:40
⑤さきたま緑道	12:54	0:42
⑥丸墓山古墳	13:54	1:00
⑦さきたま史跡の博物館	14:54	1:00
⑧北鴻巣駅ゴール	16:46	1:52
所要時間合計		7:31

■復路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻
北鴻巣(高崎線)	16:49	17:16
大宮(アーバンライナー)	17:21	17:36
春日部(スカイツリーライン)	17:38	17:58
草加	—	1:09

交通費：1,901円+入館料

行田市郷土博物館：200円

さきたま史跡の博物館：200円

●参加者：19名

原・小林・鈴木・中島・木村・

小坂・上野・大畑

和田・小倉・豊田・池澤・宮本・青木・

小坂・高橋・小野寺

お試し参加：堅谷政男様・谷塚在住82歳

会員外：高原



②行田市郷土博物館

忍城(おしじょう)本丸跡地に昭和63年2月にオープン。周辺は忍城址公園として整備され、四季折々の自然に囲まれた憩いの場になっている。行田市の歴史を通観すると、三つの大きな特色があり、一つは115文字の銘文が発見された埼玉古墳群に代表される古代の歴史と文化、次に忍城の城下町としての歴史と文化、三つ目は明治以降行田の基幹産業であった足袋づくり。常設展示では、この三つの特色を四つのコーナーで紹介し、統一テーマ「行田の歴史と文化」を理解できるようになっている。

⑦さきたま史跡の博物館

県名発祥の地、行田市埼玉(さきたま)に国指定史跡「埼玉(さきたま)古墳群」があります。ここでは、延喜式内社前玉(えんぎしきないしやさきたま)神社のほか、天正18年の忍城(おしじょう)水攻めの遺構である石田堤(いしだつつみ)、忍藩主松平家の菩提寺の天祥寺(てんしょうじ)などがあり、豊かな史跡に恵まれています。

埼玉県では、この古墳群を中心に、広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設しました。その建設の一環として「さきたま資料館」を昭和44年に設置しました。

十萬石まんじゅう——つ110円

忍城

室町時代中期の文明年間に成田氏によって築城されたと伝えられており、北を利根川、南を荒川に挟まれた扇状地に点在する広大な沼地と自然堤防を生かした構造となっている。1590年(天正18年)に豊臣秀吉の小田原征伐に伴い発生した攻城戦の際、豊臣方の総大将石田三成が利根川を利用した水攻めを行うことを決定し、総延長28キロメートルに及ぶ石田堤を建設した。しかし忍城はついに落城せず、結局は小田原城が先に落城したことによる開城となった。水攻めに耐え抜いた逸話から浮き城または亀城と称された。

